



芸術学

芸術を広く深く探求し
地域、社会、そして世界への貢献を目指す。

伝統工芸のまち、
金沢ならではの環境をいかした
「学び」と「研究」の場を提供します。
芸術をあらゆる視点から深め
多様な領域における専門的研究を可能にし
その成果を世の中に還元できる人材を育てます。

理論と実技を学び、芸術の現場で活躍する人材を育成

芸術理論や美術史研究に多様な語学を連動させ、文章力、思考力を養います。豊富な実技の学習をとおして素材、技法、そして作品に対する理解を深めます。文化財調査や企画展開催などの実践から研究に必要な専門能力を培います。

1年次

理論と実技の両方を学び、芸術学の基礎を修得します。彫刻、工芸、デザインなどの実技科目、日本・東洋・西洋の美術史に関する講義科目によって、芸術に関する知識と理解を深め、また美術作品や文献資料の調査、研究の方法論、文章表現のノウハウを修得します。

芸術学演習(調査研究の基礎①)

日本美術史、東洋美術史、西洋美術史

彫刻・工芸・デザイン・映像メディアなどの実技

語学(英・仏)



芸術学演習(一)

導入教育として、美術史・芸術学を学ぶ上に必要な基礎的スキルを学びます。英語力の向上を図るために、テクストを多読します。金沢の文化財を対象とする実地調査にも取り組みます。

工芸技法の研究

日本の工芸技法に関する基本的な知識・技法を、制作を通して学びます。金沢卯辰山工芸工房を利用して、各工芸分野に対する広い理解力を身に付けることを目指します。



彫刻技法の研究

デッサンでモデルを把握し、粘土で人体像(首・胸像)を制作。石膏成形して完成させます。素材への理解を深め、用具などの取り扱い方を習得するとともに、彫刻に対する理解を深めます。

2年次

理論と実技の両方を学び、調査研究の能力を高めます。絵画、版画、工芸、美術表現などの実技科目、美学や近代美術史、工芸史などの講義科目によって芸術に関する知識と理解を深め、専攻演習では文化財の保存・活用、展覧会の企画・運営など、芸術分野における調査研究の基礎を修得します。

芸術学演習(調査研究の基礎②)

美学、工芸史、近代美術史

絵画、版画、工芸、美術表現などの実技

語学(英・仏・独・伊から選択)

芸術学演習(二)

専門的研究への入り口として、国内の歴史的美術作品の調査(文献調査・実地調査)を実践します。芸術学関連の英書講読では、精読をおこない美学・美術史の知識を深めます。



絵画技法の研究

対象物をしっかりと観察し、目から得た情報から絵画表現の基礎を学びます。スクリーン工房での制作、じっくり時間をかけて油彩画制作を行います。様々な画材や技法の実技経験を通して、絵画についての理解を深めます。



学外研修(古美術研修)

京都や奈良などの寺社・史跡を訪ねます。研修旅行前に、京都や奈良の古美術を中心とした歴史、造形的・文化財的価値、およびそれらの保存と活用の現状について学びます。見学先は学生自身が主体的に計画を立て、時には非公開の寺社・茶室などにも拝観申請を



古美術研修

学外活動の支援

美術館・ギャラリー・文化財修理工房などの見学も随時行います。また、金沢での展覧会の企画など、学生による自主的な学外活動を積極的に支援します。



毎田染工芸の見学(金沢市)

金沢芸術学研究会の開催と『芸術学 学報』の編集

学内外に開かれた金沢芸術学研究会は、年1回研究会を開催し、研究者に発表の場を提供しています。また修士論文の中から優秀なものを掲載した学術雑誌『芸術学 学報』を発行し、芸術学専攻内に事務局を置いています。



3年次

研究の専門性を高めつつ、各自の専門分野を確立します。美学、日本美術史、東洋美術史、西洋美術史、工芸史、絵画表現から専門分野を選び、研究の専門性を高め、同時に美術作品の収集と研究、発表、展覧会の開催などを通して、芸術分野の研究活動を実践します。

芸術学演習(調査研究の実践)

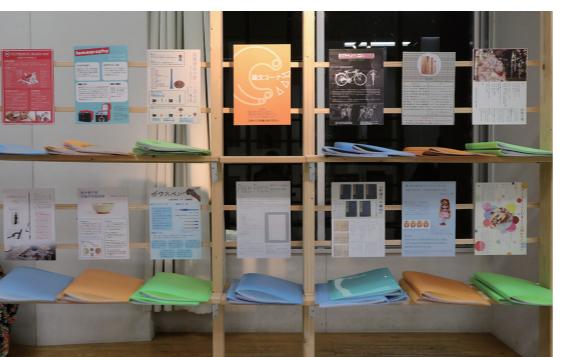
専門演習 (美学、日本・東洋美術史、西洋美術史、工芸史、絵画表現から選択)

絵画、コンピュータグラフィックスなどの実技

専門語学(英・仏・独・伊・古文などから選択)

芸術学演習(三)

3年次には、卒業論文の足がかりとなるよう、研究対象に応じたより専門的な演習を行います。また、各自が美術品を購入し、それについて多角的な調査・研究に従事する演習もあります。購入品は国内外の絵画、彫刻から工芸品まで、多種多様です。各自研究成果を口頭で発表し、レポートにまとめ、あわせて学内で購入品の展覧会を開催します。



卒業後の進路

愛知県陶磁資料館、石川県七尾美術館、石川県能登島ガラス美術館、石川県立美術館、石川県輪島漆芸美術館、伊丹市美術館、うつのみや妖精ミュージアム、金沢21世紀美術館、金沢市立中村記念美術館、金沢湯涌夢二館、九州国立博物館、黒都市美術館、公益財団法人鍋島報效会 微古館、静岡市美術館、女子美術大学歴史資料展示室、福井市自然史博物館分館、福島県立博物館、敦賀市立博物館、東京国立博物館、東北福祉大学芹沢珪介美術工芸館、富山県水墨美術館、富山県美術館、豊田市美術館、名古屋市美術館、福井県立美術館、福岡アジア美術館、古川美術館、碧南市藤井達吉現代美術館、北海道立近代美術館、北海道立釧路芸術館、ボーラ美術館、柳宗理記念デザイン研究所、横須賀市美術館、横浜美術館、和歌山県立美術館、ヴァンジ彫刻庭園美術館、リンクーン群歴史協会(アメリカ合衆国)、東京藝術大学、福井大学、和光大学、公立および私立中・高等学校美術教員など【他大学進学先】九州大学、京都市立芸術大学、群馬県立女子大学、慶應義塾大学、神戸大学、昭和女子大学、総合研究大学院大学、千葉大学、筑波大学、東京学芸大学、東京藝術大学、東京大学、東北大大学、ニューヨーク大学、ブレーメン美術大学、ロンドン大学など

芸術学演習(四)

論文執筆は担当教員がマンツーマンで指導。美学、日本・東洋美術史、西洋美術史、工芸史、絵画表現のほか、現代美術、写真、アニメなど、幅広い分野から、各自が主体的にテーマを設定します。卒業論文は金沢21世紀美術館での卒業制作展で展示され、公開講演会が開催されます。学術的に高いレベルの成果をあげています。



4年次

研究論文の執筆を行い、その成果を公開します。専門性に応じた個別指導を受けて調査研究を進め、定期的に行う中間発表を交えて自己の研究テーマを深めます。また、その研究成果を金沢21世紀美術館での卒論・修士制作展において展示すると同時に公開講演を行います。

芸術学演習(研究成果の発表)

卒業論文

専門演習 (美学、日本・東洋美術史、西洋美術史、工芸史、絵画表現から選択)

専門語学(英・仏・独・伊・古文などから選択)



卒業制作展 展示の様子

